

## I 目 的

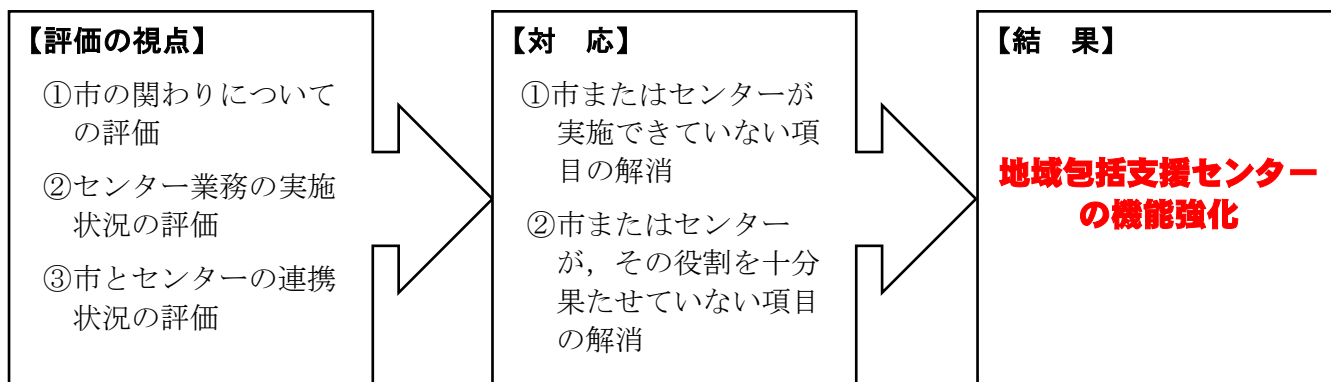
地域包括支援センター（以下「センター」という。）は、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的としている。

センターが地域において求められる機能を十分に発揮するためには、人員体制及び業務の状況を定期的に把握・評価し、その結果を踏まえて、センターの設置者及び市町村が事業の質の向上のための必要な改善を図っていくことが重要であり、全ての市町村及びセンターで取組状況を評価することにより、地域包括ケアシステムの深化に向けた取組を加速させるものである。

## II 評価指標

- 1 組織運営体制
  - (1) 組織運営体制
  - (2) 個人情報保護
  - (3) 利用者満足度
- 2 個別業務
  - (1) 総合相談支援業務
  - (2) 権利擁護業務
  - (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
  - (4) 地域ケア会議
  - (5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
- 3 事業所間連携（社会保障充実分）

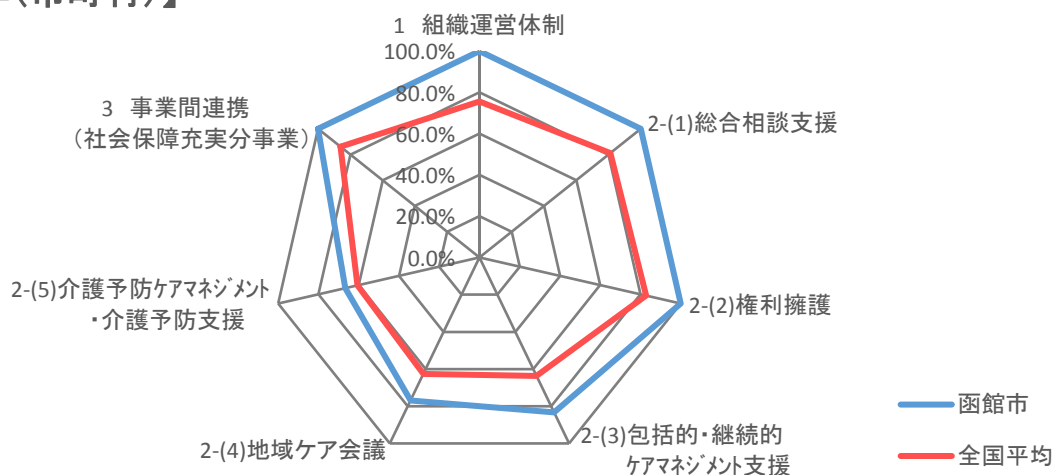
## III 評価の考え方



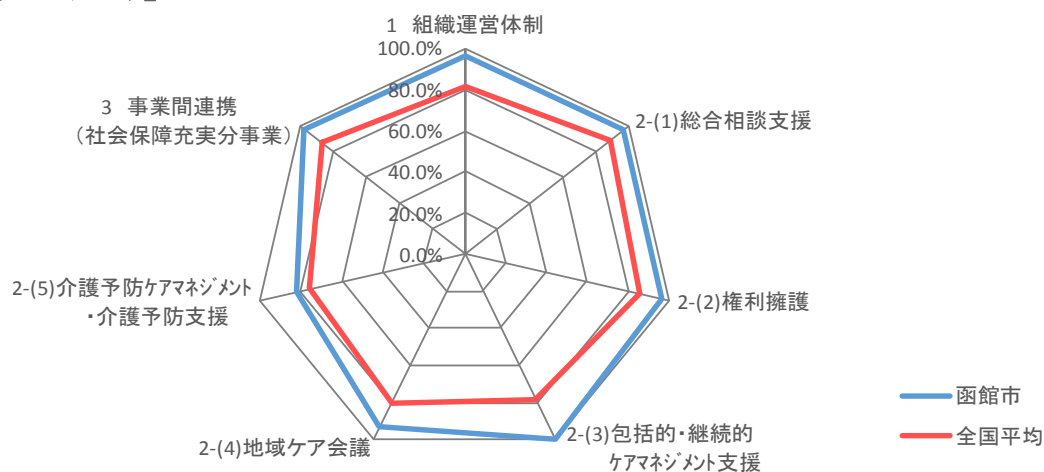
#### IV 評価結果（概要）

	市町村実施率			センター実施率		
	函館 (R1)	函館 (H30)	全国 平均	函館 (R1)	函館 (H30)	全国 平均
<b>1 組織運営体制等</b>	<b>100.0%</b>	<b>78.9%</b>	<b>75.6%</b>	<b>96.3%</b>	<b>88.9%</b>	<b>81.3%</b>
(1) 組織運営体制	100.0%	76.9%	72.7%	97.5%	91.7%	79.5%
(2) 個人情報保護	100.0%	100.0%	84.2%	87.5%	72.5%	77.8%
(3) 利用者満足度の向上	100.0%	66.7%	79.7%	100.0%	100.0%	93.0%
<b>2 個別業務</b>	<b>85.7%</b>	<b>65.7%</b>	<b>68.0%</b>	<b>94.2%</b>	<b>86.1%</b>	<b>81.8%</b>
(1) 総合相談支援業務	100.0%	83.3%	81.1%	96.7%	93.3%	88.7%
(2) 権利擁護業務	100.0%	50.0%	82.8%	96.0%	92.0%	85.9%
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	83.3%	50.0%	63.7%	100.0%	81.7%	78.4%
(4) 地域ケア会議	76.9%	76.9%	62.7%	92.3%	91.1%	80.5%
(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	66.7%	50.0%	60.6%	82.0%	68.0%	75.8%
<b>3 事業間連携（社会保障充実分）</b>	<b>100.0%</b>	<b>60.0%</b>	<b>86.1%</b>	<b>97.4%</b>	<b>76.0%</b>	<b>87.2%</b>

#### 【実施率（市町村）】



#### 【実施率（センター）】



## V 評価結果に基づく対応

### 1 地域ケア会議の推進

- ・本市では、自立支援・介護予防の観点から実施する地域ケア会議（以下、「自立支援型地域ケア会議」という。）を地域ケア会議体系に位置づけおらず、個別ケースの検討を行う地域ケア会議のなかで一部のセンターが主体的に実施している。
- ・国では、「要支援者の生活行為の課題の解決等、状態の改善に導き、自立を促すこと」ひいては「高齢者のQOLの向上」を目指すため、自立支援型地域ケア会議を推進しており、本市でも自立支援型地域ケア会議の設置が必要と考えられる。
- ・**主任介護支援専門員部会（※1）および市で、自立支援型地域ケア会議の設置に向けた協議を行う。**

※1 函館市地域包括支援センター連絡協議会が設置

### 2 センター職員の資質向上

- ・平成30年度の評価結果に基づき、市とセンターの管理者の協議のうえ、センター職員の研修計画を策定し、役割分担・連携をしながら研修受講機会の創出や市全体での資質向上の取組を推進してきた。
- ・研修計画の策定により、受講する研修の種別や受講者を管理者が効果的に選択できるようになったほか、受講者の意識や積極性が向上するなどの効果があった。また、研修受講だけではなく、センター内での実践をとおした指導が強化されたセンターもあるなど、センターの対応力向上につながったと評価できる。
- ・**令和2年度に実施する函館市独自の事業評価に基づく対応や市とセンター管理者の協議によるキャリアラダー（※2）の作成により、センター職員の更なる資質向上のための取組を推進する。**

※2 キャリアラダーとは、仕事を難易度に応じて複数の職階に細分化し、それぞれの職務内容や必要なスキルを明確にしたもの。

### 3 センター間の情報共有の強化

- ・平成30年度の評価結果に基づき、取組が不十分なセンターの底上げやより効果的な取組の検討を行うため、全センターの管理責任者と市が協議する場（代表者会議）を設置した。
- ・今年度の評価では、センター・市ともに評価が改善し、全国平均よりも高い実施率となっているが、センターの機能強化のため、今後はさらに質の高いセンター運営を目指す必要がある。
- ・**今後も代表者会議を継続するほか、必要時には、特定の課題について検討を行う会議を設け、情報共有や目指す方向性の共有を強化する。**

【参考：令和元年度地域包括支援センター事業評価結果】

＜市評価結果＞

※評価指標の【 】内は評価時点を記載

評価指標	評価	評価に係る特記事項
<b>1 組織運営体制等</b>		
Q19 運営協議会での議論を経て、センターの運営方針を策定し、センターへ伝達しているか。【平成31年度運営方針策定時】	○	
Q20 年度ごとのセンターの事業計画の策定に当たり、センターと協議を行っているか。【平成31年度計画策定時】	○	
Q21 前年度における運営協議会での議論を踏まえ、センターの運営方針、センターへの支援、指導の内容を改善したか。【平成30年度実績】	○	
Q22 市町村とセンターの間の連絡会合を、定期的に開催しているか。【平成30年度実績】	○	
Q23 センターに対して、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報を提供しているか。【平成30年度実績】	○	
Q24 センターに対して、介護保険法施行規則に定める原則基準に基づく3職種の配置を義務付けているか。【平成31年4月末時点】	○	
Q25 センターにおいて、3職種(それぞれの職種の準ずるものは含まない)が配置されているか。【平成31年4月末時点】	○	
Q26 センターの3職種(準ずる者含む)一人当たり高齢者数(圏域内の高齢者数/センター人員)の状況が1,500人以下であるか。【平成31年4月末時点】	○	
Q27 センター職員の資質向上の観点から、センター職員を対象とした研修計画を策定し、年度当初までにセンターに示しているか。【平成31年4月末時点】	○	
Q28 センターに対して、夜間・早朝の窓口(連絡先)の設置を義務付けているか。【平成30年度実績】	○	
Q29 センターに対して、平日以外の窓口(連絡先)の設置を義務付けているか。【平成30年度実績】	○	
Q30 市町村の広報紙やホームページなどで、センターの周知を行っているか。【平成30年度実績】	○	

評価指標	評価	評価に係る特記事項
<b>1 組織運営体制等</b>		
Q31 介護サービス情報公表システム等において、センターの事業内容・運営状況に関する情報を公表しているか。【平成30年度実績】	○	
Q32 個人情報保護に関する市町村の取扱方針をセンターに示しているか。【平成30年度実績】	○	
Q33 個人情報が漏えいした場合の対応など、センターが行うべき個人情報保護の対応について、センターへ指示しているか。【平成30年度実績】	○	
Q34 センターからの個人情報漏えい等の報告事案に対し、対応策を指示・助言しているか。【平成30年度実績】	○	
Q35 苦情内容の記録等、苦情対応に関する市町村の方針をセンターに示しているか。【平成30年度実績】	○	
Q36 センターが受けた介護サービスに関する相談について、センターから市町村に対して報告や協議を受ける仕組みを設けているか。【平成30年度実績】	○	
Q37 相談者のプライバシーが確保される環境整備に関する市町村の方針をセンターに示しているか。【平成30年度実績】	○	
<b>2 総合相談支援</b>		
Q38 市町村レベルの関係団体(民生委員等)の会議に、定期的に参加しているか。【平成30年度実績】	○	
Q39 センターと協議しつつ、センターにおいて受けた相談事例の終結条件を定めているか。【平成30年度実績】	○	
Q40 センターにおける相談事例の分類方法を定めているか。【平成30年度実績】	○	
Q41 1年間におけるセンターの相談件数を把握しているか。【平成30年度実績】	○	
Q42 センターからの相談事例に関する支援要請に対応したか。【平成30年度実績】	○	
Q43 センターが対応した家族介護者からの相談について、相談件数・相談内容を把握しているか。【平成30年度実績】	○	

評価指標	評価	評価に係る特記事項
<b>3 権利擁護</b>		
Q45 成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準をセンターと共有しているか。【平成30年度実績】	○	
Q46 高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れを整理し、センターと共有しているか。【平成30年度実績】	○	
Q47 センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。【平成30年度実績】	○	
Q48 消費生活に関する相談窓口及び警察に対して、センターとの連携についての協力依頼を行っているか。【平成30年度実績】	○	
<b>4 包括的・継続的ケアマネジメント支援</b>		
Q49 日常生活圏域ごとの居宅介護支援事業所のデータを把握し、センターに情報提供しているか。【平成30年度実績】 ※居宅介護支援事業所のデータとは、居宅介護支援事業所ごとの主任介護支援専門員、介護支援専門員の人数、経験年数等を年度初めに調査するなどして把握しているデータを指す。	×	事業所に関する情報提供は、介護サービス事業所体制一覧表をホームページに掲載することにより実施しているが、事業所に所属する介護支援専門員についての情報提供が不十分だった。 ※平成31年度からは、年1回各事業所へ所属している介護支援専門員に関する調査を行い、各センターへ情報提供を行っている。
Q50 センターと協議の上、センターが開催する介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を作成しているか。【平成30年度実績（平成31年度計画）】	○	
Q51 介護支援専門員を対象に、包括的・継続的ケアマネジメントを行うための課題や支援などに関するアンケートや意見収集等を行い、センターに情報提供を行っているか。【平成30年度実績】	○	
Q52 地域の介護支援専門員の実践力向上を図ることなどを目的とした、地域ケア会議や事例検討等を行うことができるように、センター職員を対象とした研修会を開催しているか。【平成30年度実績】	○	
Q53 介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者との意見交換の場を設けているか。【平成30年度実績】	○	
Q54 センターが介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。【平成28～30年度実績】	○	

評価指標	評価	評価に係る特記事項
<b>5 地域ケア会議</b>		
Q55 地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュールを盛り込んだ開催計画を策定し、センターに示しているか。【平成31年4月末時点】	○	
Q55-1 地域の医療・介護・福祉等の関係者に、策定した地域ケア会議の開催計画を周知しているか。【平成31年4月末時点】	×	地域ケア会議についてはホームページで広く周知しているが、開催計画の周知は不十分だった。 ※令和2年度に函館市地域ケア体系図の見直しを行い、開催計画と合わせて関係機関に周知する予定。
Q56 センター主催の地域ケア会議の運営方法や、市町村主催の地域ケア会議との連携に関する方針を策定し、センターに対して周知しているか。【平成31年4月末時点】	○	
Q59 センター主催の個別事例について検討する地域ケア会議に参加しているか。【平成30年度実績】	○	
Q61 地域ケア会議において多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。【平成30年度実績】 ※全ての個別事例に対して実施している場合「多職種と連携して検討を行い、対応策を講じている」とする。	×	平成30年度は、センターが行う個別ケースの検討を行う地域ケア会議の一部の事例で行っていたが、全ての個別事例に対して実施していなかった。 ※平成31年度からは、新たに地域ケア会議として、「ケアプラン検討事業」(市主催)を立ち上げ実施している。
Q62 センターと協力し、地域ケア会議における個人情報の取扱方針を定め、センターに示すとともに、市町村が主催する地域ケア会議で対応しているか。【平成30年度実績】	○	
Q63 地域ケア会議の議事録や検討事項を構成員全員が共有するための仕組みを講じているか。【平成30年度実績】	○	
Q64 地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築し、かつ実行しているか。【平成30年度実績】	×	各センターでは、地域ケア会議後のモニタリングを実施しているが、市としてルールや仕組みの構築が不十分だった。 ※平成31年度には、地域ケア会議デザイン検討会において、ルールや仕組みづくりの検討を行った。
Q65 生活援助の訪問回数の多いケアプラン(生活援助中心のケアプラン)の地域ケア会議等での検証について実施体制を確保しているか。【平成30年度実績】	○	
Q67 センター主催の地域課題に関して検討する地域ケア会議に参加しているか。【平成30年度実績】	○	
Q68 センター主催の地域ケア会議で検討された内容を把握しているか。【平成30年度実績】	○	

評価指標	評価	評価に係る特記事項
<b>5 地域ケア会議</b>		
Q69 センター主催及び市町村主催も含めた、地域ケア会議の検討内容をとりまとめて、住民向けに公表しているか。【平成30年度実績】	○	
Q70 複数の個別事例から地域課題を明らかにし、これを解決するための政策を市町村に提言しているか。【平成30年度実績】	○	
<b>6 介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援</b>		
Q71 自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関する市町村の基本方針を定め、センターに周知しているか。【平成31年4月末時点】	○	
Q72 センター、介護支援専門員、生活支援コーディネーター、協議体に対して、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源に関する情報を提供しているか。【平成30年度実績】	×	多様な地域の社会資源の情報提供が不十分だった。 ※今後は、生活支援コーディネーターと連携し、社会資源の把握および情報提供を強化する。
Q73 利用者のセルフマネジメントを推進するため、介護予防手帳などの支援の手法を定め、センターに示しているか。【平成30年度実績】	×	セルフケアマネジメントの推進の必要性はセンターと共有し、個々の高齢者支援のなかで実践しているが、支援の手法については、現在検討していない。
Q74 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定について、公平性・中立性確保のための指針を作成し、センターに明示しているか。【平成31年4月末時点】	○	
Q75 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際のセンターの関与について、市町村の方針をセンターに対して明示しているか。【平成31年4月末時点】	○	
Q76 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援におけるセンターの人員体制と実施件数を把握しているか。【平成30年度実績】	○	
<b>7 事業間連携(社会保障充実分事業)</b>		
Q77 医療関係者とセンターの合同の事例検討会の開催または開催支援を行っているか。【平成30年度実績】	○	
Q78 医療関係者とセンターの合同の講演会・勉強会等の開催または開催支援を行っているか。【平成30年度実績】	○	
Q79 在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口とセンターの連携・調整が図られるよう、連携会議の開催や情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか。【平成30年度実績】	○	



評価指標	評価	評価に係る特記事項
<b>7 事業間連携(社会保障充実分事業)</b>		
Q80 認知症初期集中支援チームとセンターの連携・調整が図られるよう、連携会議の開催や情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか。【平成30年度実績】	○	
Q81 生活支援コーディネーターや協議体とセンターの連携・調整が図られるよう、連携会議の開催や情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか。【平成30年度実績】	○	

## <センター評価結果>

※評価指標の【 】内は評価時点を記載

評価指標	あさひ	こん中央	ときとう	ゆのかわ	たかおか	西堀	亀田	神山	よるこび	社協	評価に係る特記事項
<b>1 組織運営体制等</b>											
Q11 市町村が定める運営方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか。【平成31年計画策定時】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q11-1 事業計画の策定に当たって、市町村と協議し、市町村から受けた指摘がある場合、これを反映しているか。【平成31年度計画策定時】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q12 市町村の支援・指導の内容により、逐次、センターの業務改善が図られているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q13 市町村が設置する定期的な連絡会合に、毎回、出席しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q14 市町村から、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報の提供を受けているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q15 把握した担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの取組における重点項目を設定しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	担当圏域の現状やニーズに基づき活動計画を策定しているが、重点項目まで設定していないセンターがあった。 ※令和2年度の活動計画から、重点取組項目の記載欄を設ける。
Q16 3職種(それぞれの職種の準ずる者は含まない)について、必要数を配置しているか。【平成31年4月末時点】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q17 市町村から、年度当初までに、センター職員を対象とした研修計画が示されているか。【平成31年4月末現在】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

評価指標	あさひ	こん中央	ときとう	ゆのかわ	たかおか	西堀	亀田	神山	よろこび	社協	評価に係る特記事項
<b>1 組織運営体制等</b>											
Q18 センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場での仕事を離れての研修(Off-JT)を実施しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	いずれのセンターも、Off-JTの機会を一定程度設けているが、一部のセンターは全職員を対象としていなかった。
Q19 夜間・早朝の窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q20 平日以外の窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q21 パンフレットの配布など、センターの周知を行っているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q22 個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q23 個人情報が漏えいした場合の対応など、市町村から指示のあった個人情報保護のための対応を、各職員へ周知しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q24 個人情報保護に関する責任者(常勤)を配置しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q25 個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか。【平成30年度実績】	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	一部のセンターでは、個人情報保護に関する取り組みが不十分だった。 ※各センターの取組状況についての情報共有を行い、取り組みが不十分なセンターは、見直し・改善を行う。

評価指標	あさひ	こん中央	ときとう	ゆのかわ	たかおか	西堀	亀田	神山	よろこび	社協	評価に係る特記事項
<b>1 組織運営体制等</b>											
Q26 市町村の方針に沿って、苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q27 センターが受けた介護サービスに関する相談について、市町村に対して報告や協議を行う仕組みが設けられているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q28 相談者のプライバシー確保に関する市町村の方針に沿い、プライバシーが確保される環境を整備しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q29 地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	ミーティング等での共有は行っていたが、マップやリストでの管理を行っていないセンターがあった。 ※各センターの取組状況についての情報共有を行い、取り組みが不十分なセンターは、見直し・改善を行う。
<b>2 総合相談支援</b>											
Q30 相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q31 相談事例の分類方法を、市町村と共有しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q32 1年間の相談事例の件数を市町村に報告しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

評価指標	あさひ	こん中央	ときとう	ゆのかわ	たかおか	西堀	亀田	神山	よろこび	社協	評価に係る特記事項
<b>2 総合相談支援</b>											
Q33 相談事例解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村からの支援があったか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q34 家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に記録して取りまとめているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
<b>3 権利擁護</b>											
Q36 成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準が、市町村から共有されているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q38 高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q39 センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q40 消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	消費生活に関する相談窓口や警察等との連携体制はあるが、連携して対応すべきケースがなかったセンターがあった。
Q41 消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	センター内で情報共有し、出前講座での周知は行っているが、定期的に関係機関へ情報提供する仕組みを設けていないセンターがあった。 ※各センターの取組状況についての情報共有を行い、取り組みが不十分なセンターは、見直し・改善を行う。

評価指標	あさひ	こん中央	ときとう	ゆのかわ	たかおか	西堀	亀田	神山	よろこび	社協	評価に係る特記事項
<b>4 包括的・継続的ケアマネジメント支援</b>											
Q42 担当圏域における居宅介護支援事業所のデータを把握しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q43 介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に、指定居宅介護支援事業所に示しているか。【平成31年度当初時点】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q44 介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市町村からの情報提供や、市町村による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q45 担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者との意見交換の場を設けているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q46 介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q47 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。【平成28～30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

評価指標	あさひ	こん中央	ときとう	ゆのかわ	たかおか	西堀	亀田	神山	よろこび	社協	評価に係る特記事項
<b>5 地域ケア会議</b>											
Q48 地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュール等を盛り込んだ開催計画が市町村から示されているか。 【平成31年4月末時点】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q49 センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。【平成31年4月末時点】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q50 センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q51 センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q53 センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。【平成30年度実績】	○	×	○	○	○	○	×	×	○	×	体系図に自立支援型地域ケア会議を位置づけておらず、多職種と連携した検討を行っているセンターは一部である。 ※自立支援型地域ケア会議の設置に向け、現在センターと市で検討している。
Q54 市町村から示された地域ケア会議における個人情報取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q55 センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	議事録の作成は全センターが行っていたが、一部のセンターでは、参加者との共有を行っていなかった。 ※各センターの取組状況についての情報共有を行い、取り組みが不十分なセンターは、見直し・改善を行う。

評価指標	あさひ	こん中央	ときとう	ゆのかわ	たかおか	西堀	亀田	神山	よろこび	社協	評価に係る特記事項
<b>5 地域ケア会議</b>											
Q56 地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q57 センター主催の地域ケア会議における検討事項をまとめたものを、市町村に報告しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
<b>6 介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援</b>											
Q58 自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市町村から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q59 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置つけたことがあるか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q60 利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか。【平成30年度実績】	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	利用者のセルフマネジメントの推進については、個々の高齢者支援のなかで実践しているが、手法の統一については現在検討していない。
Q61 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針が市町村から示されているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q62 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	



評価指標	あさひ	こん中央	ときとう	ゆのかわ	たかおか	西堀	亀田	神山	よろこび	社協	評価に係る特記事項
<b>7 事業間連携(社会保障充実分事業)</b>											
Q63 医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q64 医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q65 在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	在宅医療・介護連携支援センターに相談できる体制はあるが、相談を必要とするケースがなかったセンターがあった。
Q66 認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Q67 生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。【平成30年度実績】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	